

経営比較分析表（令和4年度決算）

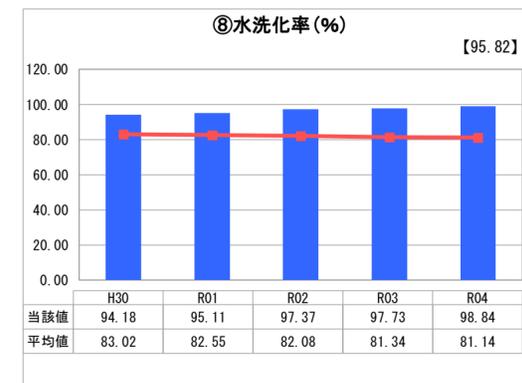
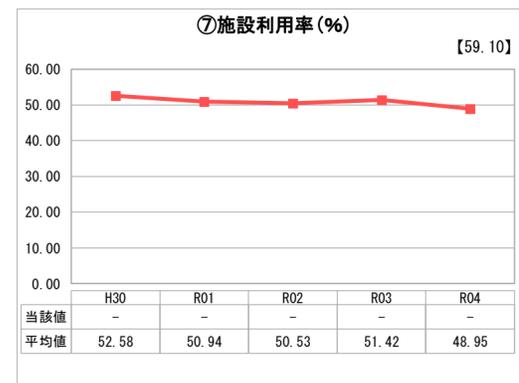
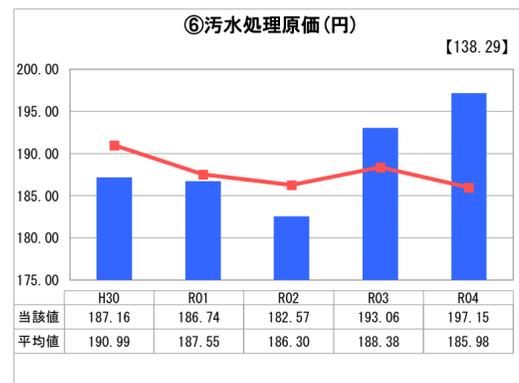
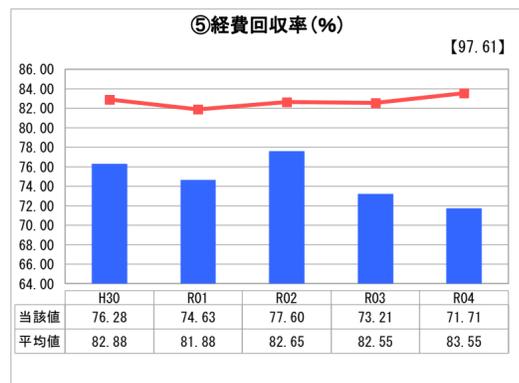
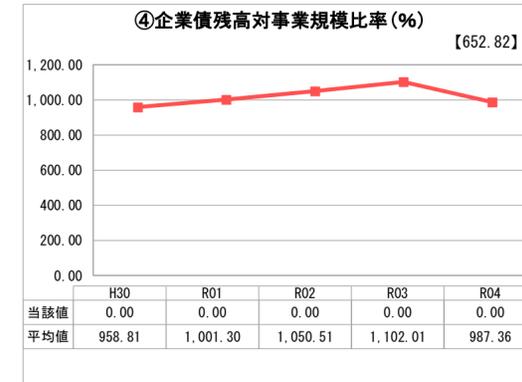
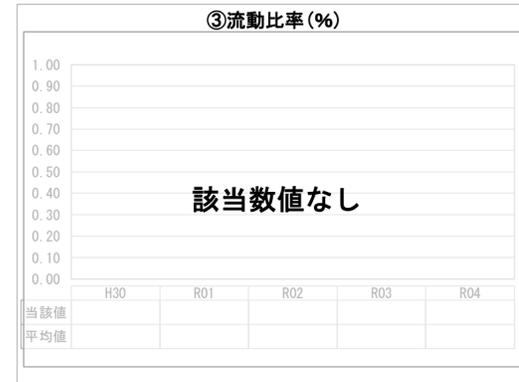
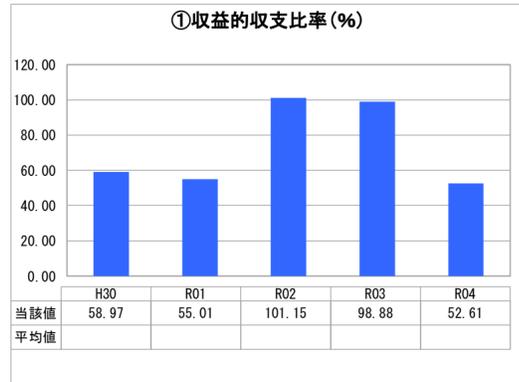
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	44.63	92.23	2,530

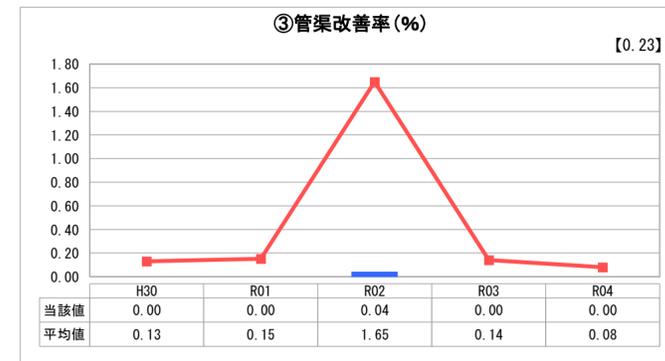
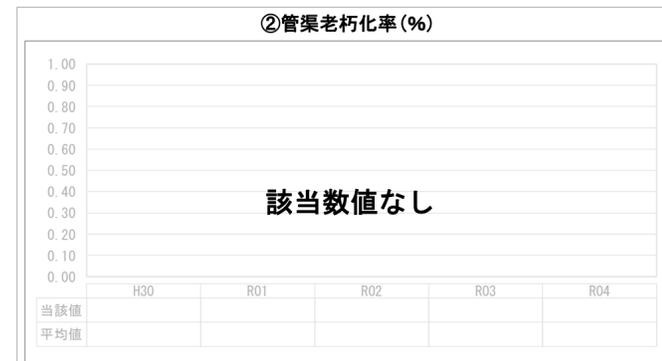
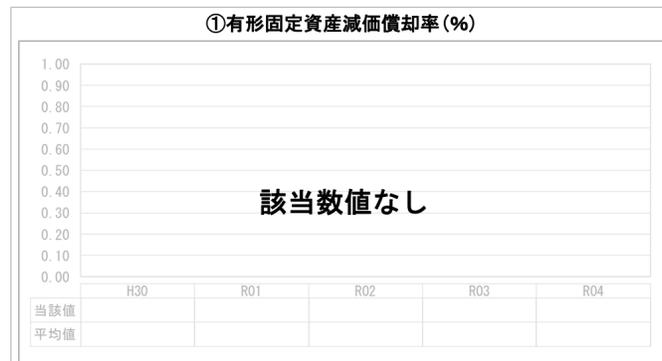
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,037	94.43	191.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,017	1.95	4,111.28

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、100%を下回っており、総収益の大部分を一般会計繰入金に依存している状況である。令和6年度からは下水道事業会計の公営企業法適用化を行う予定としており、料金改定を視野に入れた経営戦略の改定を進め、財源確保等の経営改善に向けた取組みが必要と考えている。

経費回収率は、料金収入がほぼ横ばいに推移しており、100%を下回る状況が継続している。また、類似団体平均値を下回る状況も継続しており、汚水処理費の抑制や料金収入の増加に努める必要がある。

汚水処理原価については、管路調査等の実施を継続するなど不明水対策を推進し、維持管理費の更なる削減に努めていく。

施設利用率は、当町においては、五領川公共下水道事務組合に汚水処理を委託しており、終末処理場が無いため該当しない。

水洗化率は、住宅新築・改築需要の増加により微増している。今後も、公共下水道への接続を推進し、水洗化率100%を目指していく。

2. 老朽化の状況について

本町の公共下水道事業は、H7年4月に供用を開始し、28年が経過しているが、現状では管渠の更新を直ちに実施する予定はない。

ただし、R6年度からの公営企業法適用化を予定していることに伴い、法適用化に合わせ固定資産台帳の整備を進めている。今後は資産の現状の老朽化を把握し、適切な老朽化対策を進めていく。

全体総括

本町の公共下水道事業は、独自の処理場を持たず、中継ポンプ場から五領川浄化センターに圧送し、処理委託することで事業費の抑制を図っている。しかし、料金収入も低い水準にあり、総収益の大部分を一般会計繰入金に依存しているため、経営状況は依然として脆弱な状況にある。料金収入については人口減少等の影響から今後も増加することが見込めず、一方では施設の老朽化により修繕費が増加する見通しとなるなど課題は多い。

今後、施設等更新の詳細な検討を行うと同時に、本事業における資金状況を明らかにするなど経営健全化、事業効率化を進めていく。

また、R2年度に策定した公共下水道事業経営戦略の改定に向け、検討内容を盛り込み、経営状況を可視化することで住民への周知及び理解をより一層図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。